



『新・おたたさん!』“まさきの味”を全国へ!



金澤 浩 議員

松前・宗意原統合保育所の整備は

緊急防災対策事業債などの活用で、財政的に有利

問

- ① 北黒田に移転するが、保護者の同意は。保健福祉部長
- ② 借地代が30年間で約2億円。土地購入の方が安価では。決定の経緯を伺う。
- ③ 運営は直営か、認定子ども園か。今後の見通しと町の考えを伺う。
- ① 保護者、地域ともに反対意見なし。理解を得たと認識。
- ② 財源として、借地の固定資産税収入と緊急防災対策事業債の活用ができるため、財政的に有利と判断。また、インフラ整備が整った土地のため、早期着工が可能な点や保護者が送迎時にアクセスが容易な道路があるなどの環境面や防災上の優位性も選定の理由。
- ③ 保育所として町が運営する。認定子ども園は、保育の必要性の有無にかかわらず受け入れができる。住民ニーズを踏まえ、移行することも検討したい。

農水産業の振興は

商業との連携が鍵 松前ブランドの創造

問

- ① 町内で、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の影響が、どれくらい出ると町は調査しているのか。
- ② 町長の選挙公約にある農水産業の振興は、どのように取り組むのか考えを伺う。
- ① 算定していない。
- ② 認定農業者や農業生産法人の育成、新規就農者など担い手確保を推進。農地中間管理機構を活用した生産性の向上について、国や県の各種施策を活用し進めていく。
- 平成25年度に漁業経営の安定と活性化(ハモ加工機購入支援)を図り、ブランド化を推進。また、漁協と消費者を結ぶ、みなど祭り開催も支援。引き続き、漁業環境の整備や経営体制充実の支援を行う。